



学校評価と共にこの一年を振り返る

「緊急事態宣言」が、宣言の延長により解除されないまま3月を迎えることになりました。しかし、2月の始めとは違い確実に感染者数は減ってきていますし、ワクチンに関する話題も次第に身近な情報になってきているように思います。まだまだ安心できるような状況ではありませんが、少しずつ光も見えてきているのではないのでしょうか。3月は学校では、一年の締めくくりの時であり、卒業式や修了式が予定される時期ではありますが、今年度は、例年通りの形とはいかないようです。できる限り最大限の工夫と対策のもとに3月の予定をしっかりと進めてまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、毎年学校の教育活動内容の向上のため、生徒や保護者の皆さんの意見をお聞きし、活かしていくことをめざして行っています「学校評価」ですが、今年度分の集計が終わりまりましたので、今回はその結果をもとにこの一年を振り返ってみたいと思います。



「一人ひとりを認め、学びあい、夢を拓げる学校」をめざして

神奈川校では、「人は誰もがかけがえのない大切な存在であり、そうした一人ひとりを認めあい、尊重しあって、安心して楽しく学びあうことができ、それぞれの夢の可能性を拓げていける学校」をめざしています。

♥ 全体を概観して

今年度はコロナウィルスのため、授業はもとより体験学習、修学旅行、輝跡祭など、学校生活・行事のほとんど全てがその影響を受け、中止や変更を余儀なくされました。そのため、学校評価も例年との比較は難しいところがありますが、そうした中でも、生徒のみなさんが大事に思っていることや保護者の皆様の期待が大きいところなどが反映されているようにも思います。そういう意味で、例年との比較というよりも、これから重点を置くべき項目や活動を意識してみたいと考えています。

♣ 項目別

「学ぶ力」の項目では、「学び直し」が生徒・保護者の皆さん共に肯定的な回答が多く、期待の高さがうかがわれました。今年度は授業内だけではなく、web教材（すらら）の導入により、さらに取り組みやすくなるよう努めました。生徒のみなさんからも高い評価があるというのは、その必要性を自分たちでも感じている人が多いということだろうと思います。何事も土台・骨格となる基礎は大切です。学校も今後さらに工夫や研究を重ね、成果を高めていきたいと考えています。次に「検定」については、コロナで登校が十分できず、受検準備のための補習が個々にゆだねられる部分が大きかったので、取り組み方について反省している生徒のみなさんが多かったようで、少し低めの評価となりました。次年度は準備・実施時期等を含めて、さらに改善を図り、実施していきたいと考えております。「日々輝塾」については、今年度はオンラインによるものを新たに設けました。日々輝塾自体、保護者の皆様からは9割ほどの高い評価を頂いており、学校で実施する日々輝塾と共にオンラインについても、さらなる充実を図っていききたいと考えております。

通常の授業、実践講座やホームルーム、自主学習教材と、今年度はコロナの影響もあって、オンラインによる学習や活動が大幅に増えた一年でした。こうした取り組みを進めていく中で、生徒のみなさんもICTを上手に活用して学習できるようになってきたのではないのでしょうか。今後もみなさんがICTを扱うための技能の向上をめざすと共に、学校としては、オンラインによる学習や活動の内容をさらに実り多く、充実したものにしていこう努めていきたいと思います。

「心の力」については、「ボランティア活動」はコロナ禍で校外の活動機会が減り、特に1年生は上級生からの活動の引き継ぎも思うようには出来ませんでした。これは残念なことではありますが、今年度については仕方ない面もあると思います。今後、また機会が増えてくれば、積極的に参加して欲しいと思っています。「表現活動」についても発表する場が限られてしまいましたが、輝跡祭ではオンラインによる映像発表という思わぬ形で生徒のみなさんの素晴らしい創造性が発揮されました。アトリエ部を中心に全日本学生美術展での活躍も記憶に新しいところです。表現活動は個を活かし、伸ばすうえでとても大切な活動です。これからも、様々な表現活動を推奨していきたいと思っています。「メンタルサポート」では、昨年同様高評価をいただく中、面談が予定通りには実施できず、リモートとなったのは残念でした。もうしばらくは不自由になりますが、どのような形であれしっかりと意思疎通を図り、よりよい方向をめざしたいと思っています。また、家庭訪問や教育相談にも、必要に応じてリモートを取り入れていきたいと考えています。

(裏面に続きます)

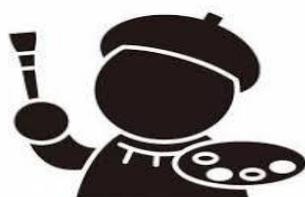
「**社会とかかわる力**」では、「生徒会・部活動」については、実際にはかなり活動が制限された一年でしたが、生徒・保護者のみなさんともに、その重要性を強く意識してくださっている評価だと感じています。生徒の皆さんも思うように活動が出来ない分、活動できるときの貴重さや集中力を感じた一年だったのかもしれませんが、今後も力を入れていきたい教育活動です。「情報教育」については、今年のオンラインでの諸活動も踏まえてなのか、肯定的な評価が多くありました。今後もICTの活用とともに情報モラルやマナーの指導をきちんと行い、将来、みなさんの社会生活にも役立つスキルとして、正しく身につけていって欲しいと思っています。そういう意味からも、これからも最新の情報を取り入れながら、しっかり進めていきたいと思っています。「キャリア教育プログラム」についても、予定通りには出来ないものもありましたが、生徒のみなさんの成長と今後の進路選択に向けた道しるべとして、計画的にしっかり実施してまいります。高専・高大連携や進路見学会なども、世情を鑑み、状況に対応した新しい取り組み方などについて研究し、実施していきたいと考えています。

◆ おわりに

この1年コロナに翻弄され、コロナ禍のように教育活動を進めていくか、その対応に追われ続けた1年でした。各ご家庭におかれましては、これまでになく様々な苦労や忍耐の日々であったろうと拝察いたします。学校も活動内容の中止や変更をせざるを得ないものも多く、保護者の皆様のご理解とご協力なしには今日まで進めてこられなかったであろうと思っております。1年間、誠にありがとうございました。心より御礼申し上げます。コロナへの対応はまだこれからも続くわけですが、学校としましては、この1年の経験を活かして、しっかりした対策のもと、知恵を絞り、工夫を凝らして、新年度に向かっていきたいと考えております。保護者・ご家族の皆様におかれましては、健康に十分留意され日々過ごされますとともに、本校の教育活動につきましても、引き続きご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

卒業式について

3年生のみなさん、卒業の日が近づいてきました。3年間いろいろなことを学び、苦労し、成長して、いよいよ晴れの良き日を迎えることになり、心からお祝い申し上げます。保護者の皆様には、すでに文書でお知らせしていますが、今年度の卒業式は3月8日(月)に、海老名市文化会館で実施する予定となっております。式は卒業生とご家族のみの参加で実施し、在校生は基本参加致しません。コロナウィルス感染防止のため例年と同じ形で行うことはむずかしく、やむを得ずこのような形となります。出席はできませんけれども、在校生のみなさんも心よりお祝いして、送り出してくれるものと思います。卒業生の皆さんも胸を張って卒業の日をむかえ、次の新たなステージに力強く歩み出して欲しいと思っています。



美術展で入選の快挙！

ホームページでもご紹介しましたが、全日本学生美術展で本校の1年庄子さんと2年石川さんの作品が佳作に選ばれました。初めて出品した展覧会でいきなりの入選は、なんともすごいことだと思います。二人の作品はホームページに写真がありますので、是非ご覧になってください。また、こうした文化的活動で、みなさんの豊かな感性や創造力を大いに発揮して、様々な成果をこれからも多数あげていって欲しいと思っています。